

河野うめまつり



第12回河野うめまつりが、6月21日、22日の両日、北前船主右近家前駐車場で開かれ県内外より約5,000人が訪れました。今年は天候不順により収穫量は減少しているものの、粒は大きく肉厚で、会場では収穫したばかりの青梅が販売され、買い求める人たちが賑わいました。そのほか、梅エキスや甘露煮、梅ソフトクリームなどの加工品や、焼きさば、焼きホタテなど新鮮な海の幸も販売。うめぼしのたね飛ば



し長距離王決定戦やうめぼし入りおにぎりの試食、バルーンアートショーなども人気を呼んでいました。
また、生産農家の梅園や町営梅園で行われた、恒例の梅もぎ体験には予約が殺到。参加者らは、鈴なりになった大きな梅に驚きながらも、はりきって梅をもぎ、袋いっぱい詰めていました。

梅干漬け込み体験



梅生産者の指導を受けながら梅干を作る「梅干漬け込み体験」が7月5日から始まりました。梅干作りは初めてという人や家族連れなど40組80人が参加。指導員の説明を聞きながら、漬け込み前の水洗いや塩の計量など慎重に取り組んでいました。
8月上旬から土用干し、シン入れを行い、きれいに赤く染まった梅干が出来上がります。



特別企画

今回は、右近家西洋館でミニコンサートを、右近家で武者人形展を開催。コンサートではピアノ演奏とテノール独唱が披露され、訪れた人たちはきれいな音色に聴き入り、ゆったりとした時間を過ごしました。